

じねんじょ部会種芋地域増殖ほの「栽培管理チェックシート」を作成

1 対象

犬山東部じねんじょ部会

2 背景

犬山東部じねんじょ部会では、愛知県が開発した品種である「稲武2号」（商標「夢とろろ」）を栽培している。

「稲武2号」の栽培においては、ウイルスフリーのムカゴを部会の共同の施設である地域増殖ほで栽培し、種芋に育てて各生産者に配付している。種芋の安定供給は部会員のジネンジョ栽培には必須であるが、収量に年次変動があり、十分な供給ができていない。

地域増殖ほは部会で共同管理されているが、管理作業にはサポーターが参加し作業補助を行っている。サポーターは地域増殖ほの作業に不慣れな場合が多く、作業の指針となるものが必要である。

3 活動の内容

地域増殖ほの管理作業にあたって必要な栽培ポイントを取りまとめた「栽培管理チェックシート」を作成することとした。

農業改良普及課は「チェックシート」の素案を作成し、部会役員会で検討して試行版とした。チェックシートの試行版には「施設の管理」「土壌肥料」「栽培管理」「病虫害防除」等の主要な項目ごとに押さえるべきポイントをまとめ、実施できているかどうかを常に確認しながら作業を進めていけるようにした。

農業改良普及課はサポーターが参加する作業に立ち会い、ポイントを押さえながら作業を行うよう支援した。また、「チェックシート」試行版の各項目が実施できているかを役員会で随時確認してもらい、役員の意識を高めるように努めた。

地域増殖ほの管理作業がほぼ終了した時点で再度役員の意見を反映し、チェックシートの完成版を作成した。

4 活動の成果

地域増殖ほの管理作業にあたり実施すべき栽培管理ポイントを取りまとめたチェックシートを作成することができた。

今後、新たなサポーターが加わった場合に、管理作業で気を付ける点を確認して地域増殖ほとしての適切な管理を行ってもらうことで、今後の種芋安定供給につなげていくことができる。

○犬山東部じねんじょ部会 地域増殖ほ（共同網室）栽培管理チェックシート				
☆：作業のたびにできているかチェック！				
施設の管理	入室時の消毒	☆	☐	入室時は消毒液で靴底を消毒している。
		☆	☐	消毒液は毎日作り直している。
☆		☐	使用する資材の消毒を徹底している。	
	排水路の整備		☐	床面からの溢水を防ぐ対策をしている。
			☐	ハウス内に水が溜まらないように、排水溝を詰めてある。
雑草管理		☆	☐	ハウス内の雑草は小さいうちに抜いている。
		☆	☐	畝の上の除草のときにむかごから発芽したつるを抜かないように気を付けている。
			☐	畝間の雑草対策として畝間にもマルチを敷いている。
		☆	☐	前年のイモやむかごから発芽した株（のら生え）は見つけ次第地下部ごと抜き取り処分している。 ※のら生えのジネンジョはウイルス感染のもと
夏の高温対策		☐	遮光・避熱資材を使用し、ハウス内の温度上昇を抑制している。	
ほ場周辺の管理		☆	☐	ハウス周辺の除草を行っている。
			☐	ハウス周りは植物残渣や水たまり等、汚染源になるものがないようにしている。

図 地域増殖ほ栽培管理チェックシート（抜粋）